

夏季宇部地区大会決勝戦評

○男子決勝

宇部工○74(20-6 23-2 18-13 13-9)30●宇部

両者マンツーマン。宇部は、本日4試合目ということもあり、動きが重い。対する宇部工は、豊富な運動量から流れを完全につかむ。宇部工20-6宇部。2Q、宇部は、宇部工の激しいディフェンスの前に、打たされるシュートが続き、そのリバウンドを宇部工が支配する。残り3分、宇部の攻撃の起点となっていた#4が足をつってしまいコート外に出るアクシデント。宇部はより苦しくなり、宇部工43-8宇部で前半終了。3Q、宇部工オールメンバーチェンジし、プレッシャーをさらに強める。宇部もオフェンスリバウンドを頑張り、シュートファールをもらうが、フリースローを決めきれることが出来ず、流れをなかなかつかめない。対する宇部工もシュートが決まらず、両チームこう着状態が続いた。宇部工61-21宇部。4Q、宇部はディフェンスをさらに強めるが、4試合目なので足がついていかず、ファールが増える。宇部工はフリースローを確実に決める。選手層、運動量で上回る宇部工が落ち着いてゲーム運び、宇部工74-30宇部で、宇部工が優勝を飾った。敗れはしたものの、宇部の気持ちの入ったワンプレー、ワンプレーは見ているものを感動させるものだった。次は両チームベストな状態で戦うのを見てみたい。

○女子決勝

慶進○46(10-11 17-13 16-11 3-7)42●宇部商

両チームハーフコートマンツーマンで開始する。立ち上がり、お互いにリズムを掴むことができず、硬さが見られる中、慶進#8が先制する。対する宇部商はミスマッチを生かし、#5を中心としたオフェンスを展開する。終了間際、慶進#9のブザービーターが決まり、慶進10-11宇部商。2Q開始早々、慶進#8のシュートで逆転に成功するが、宇部商#6の連続3Pでリードを許さない。残り2分から慶進はディフェンスを強め、相手のミスを誘い、一気に流れを掴む。終了間際、慶進#5の鋭いドライブからステップインが決まり、慶進27-24宇部商で前半終了。3Q、慶進#9のシュート、#4の3Pが決まり、突き放しにかかろうとするが、宇部商も#8の3Pで応戦する。その後も一進一退の攻防が続く。残り20秒、慶進#6の3Pが決まり、慶進43-35宇部商。4Q、両チームともミスが続き、シュートまで行くことができない。残り2分を切ったところで宇部商#14の3P、#7のシュートが決まり4点差に縮めたところで慶進はたまたまタイムアウト。タイムアウト後、慶進は#4・#5を中心に落ち着いてボール運びをし、そのまま逃げ切り、慶進46-42宇部商で慶進が勝利した。